

路線バスの必要性

路線バスは、利用者の減少から路線を維持確保していくことが大変厳しい状況にあり、全国では、毎年2,000kmの路線が廃止されています。利用者が減少している路線バスですが、なぜ必要なのでしょう。

路線バスは、自家用車などの移動手段を持たない、児童・生徒や高齢者にとって大切な交通手段です。また、普段は自家用車を利用している方にとっても、飲酒の機会や悪天候のとき、自家用車が故障したとき、などの代替の交通手段となります。さらに、将来、高齢者になり自家用車の運転ができなくなったときは、路線バスをはじめとする公共交通がないと移動が制限されてしまいます。

路線バスがないと高校に通うことができない、買物に行くことができない、となると地域での生活ができないことから転出される方も出てくるかもしれません。転出者が多くなると地域のコミュニティを形成することも難しくなります。



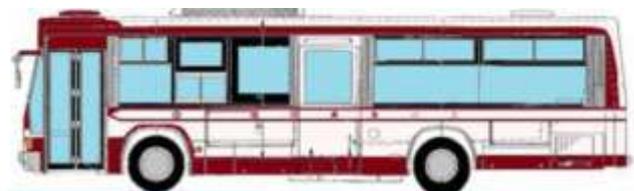
路線バスは単なる移動手段ということだけでなく、地域を活性化していくための重要なライフラインの役割を担っています。

地域での生活を現在、また将来に渡って継続していくためにも、路線バスを維持していくことが必要です。

国際興業バス、旧塗装車を復刻します

国際興業バスでは、1950年（昭和25年）に東都乗合自動車と合併して国際興業バスが誕生した際に採用された、ライトパープルとマルーンの2色を配した車両を1台復刻し、12月から飯能営業所管内を運行します。このデザインの車両は、1950年（昭和25年）～1960年（昭和35年）頃まで運行されていたとのことで、黄緑色を基調とした現在のバスとはイメージが異なると思います。また、長年親しまれてきました白地に薄い緑の塗装車も最後の1台が11月に廃車となり、復刻車がさいたま市内を運行しています。

なお、この復刻車内におきまして「写真でたどる飯能市の60年」の特別展示を行います。ぜひ、このバスをご利用いただき、レトロな気分を味わってください。

【イメージ図】**国際興業バスまつり**

国際興業バスまつり2013（入場無料）が12月1日（日）（10時～15時）にさいたま東営業所（さいたま市緑区上野田629-15）で開催されます。会場では、バス洗車機体験やバスの綱引き、バス乗り方教室などを行います。また本市の観光案内や名栗地区の名産販売もします。さらに復刻車のご披露も行います。

ご家族、お友達お誘いのうえ、お越しく下さい。

詳しくは、国際興業バスホームページをご確認ください。

ぼくも参加
します。

※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所市民生活部交通政策担当